

人間生活学研究科 人間生活学専攻 修士課程		研究分野／領域	生活環境論		
授業コード	M7600	授業科目	生活環境学特論		
担当者	小川 賢一	授業形態	講義		
期間	通年	単位数	4	対象年次	I II
授業概要	地球環境と地域環境の視点から自然（動植物等）や文化、ライフスタイルを見直し、新しいまちづくり、および生活環境づくりを考察する。				
到達目標	既存の概念にとらわれず、基礎知識をもとに広い視野とバランスのとれた考えを身につけること。				
成績評価基準	受講姿勢および課題（レポート等）から総合的に評価する。				
留意事項	特になし。				
教材	参考文献・資料を適宜紹介ないし配布する。				
授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのつきあい</li> <li>・地域と地域環境</li> <li>・地域と文化</li> <li>・鎮守の森、信仰樹</li> <li>・緑化</li> <li>・地域と景観</li> <li>・新しいまちづくり</li> <li>・地域とエネルギー</li> <li>・新エネルギー利用</li> <li>・地産地消</li> <li>・衣、食、住、水、ごみとのつきあい方</li> </ul>				

人間生活学研究科 人間生活学専攻 修士課程		研究分野／領域	生活環境論		
授業コード	M7640	授業科目	住環境特論		
担当者	成清 仁士	授業形態	講義		
期間	通年	単位数	4	対象年次	I II
授業概要	人が生活する上で大切な住環境・都市環境について講術する。都市化・高機能化・超高齢化・少子化・景観・まちづくり等のキーワードをもとに、これからの日本に求められる住環境を探求する。				
到達目標	21世紀の住まい方・生活のあり方を提言できる能力・思考を修得する。				
成績評価基準	講義の内容についての発表・口頭による論述内容・レポート課題・定期試験等を総合して評価する。				
留意事項	テーマごとの課題を講義ごとにとりまとめ、発表することも求める。				
教材	テーマごとに適宜、紹介・推薦する。				
授業予定	第1回：授業ガイダンス 第2回：日本における住環境形成史・都市史—古代 第3回：日本における住環境形成史・都市史—古代 第4回：日本における住環境形成史・都市史—中世 第5回：日本における住環境形成史・都市史—中世 第6回：日本における住環境形成史・都市史—近世 第7回：日本における住環境形成史・都市史—近世 第8回：プレゼンテーション、講評 第9回：近代以降の住まい方論 第10回：近代以降の住まい方論 第11回：日本の都市計画の歴史 第12回：日本の都市計画の歴史 第13回：日本のまちづくりの歴史 第14回：日本のまちづくりの歴史 第15回：プレゼンテーション、講評 第16回：これからの日本に求められる住環境 第17回：歴史的環境デザイン論の変遷 第18回：歴史的環境デザイン論の変遷 第19回：歴史的景観とまちづくり 第20回：歴史的景観とまちづくり 第21回：倉敷における歴史的景観とまちづくり—成果と課題 第22回：倉敷における歴史的景観とまちづくり—成果と課題 第23回：プレゼンテーション、講評 第24回：歴史的景観とまちづくりに係る考察 第25回：住環境をとりまく日本の状況変化 第26回：住環境をとりまく日本の状況変化 第27回：これからの住環境形成に向けた問題分析 第28回：これからの住環境形成に向けた問題分析 第29回：これからの住環境形成に向けた展望 第30回：総括 第31回：定期試験 第32回：授業ふりかえり				

人間生活学研究科 人間生活学専攻 修士課程	研究分野／領域	生活環境論			
授業コード	M7660	授業科目	食環境特論		
担当者	小林 謙一	授業形態	講義		
期間	通年	単位数	4	対象年次	I II
授業概要	食環境の変容とメタボリックシンドロームとの関連性について論ずるとともに、「食」によるメタボリックシンドロームの予防・改善が可能かどうかについて考察する。				
到達目標	生活習慣に起因する疾患の予防・改善に関する方策を、食生活の観点から提言できる能力を身につける。				
成績評価基準	受講態度、論文読解、課題発表、課題レポートを総合的に評価する。				
留意事項	特になし。				
教材	国内外の学術論文を教材とする。				
授業予定	1～5 メタボリックシンドロームと食生活 6～10 肥満と食生活 11～15 糖尿病と食生活 16～20 ガンと食生活 21～25 慢性腎臓病と食生活 26～30 疾患予防・改善のための食生活				

人間生活学研究科 人間生活学専攻 修士課程		研究分野／領域	生活環境論		
授業コード	M7670	授業科目	生活環境論演習		
担当者	成清 仁士	授業形態	演習		
期間	通年	単位数	4	対象年次	I II
授業概要	人と住まいの生活環境、そしてその集合体でもある都市環境を研究対象として、快適な住環境を創造するための諸問題を考察する。また、日本の伝統的な住環境・住まい方等について、歴史・風土・建築技術等の面からも考究する。				
到達目標	これからの生活環境の在り方について、特論を展開できる能力を身につける。				
成績評価基準	演習の内容についての発表・口頭による論述内容・レポート課題・定期試験等を総合して評価する。				
留意事項	各自のテーマについて十分な考察を行い、その結果をとりまとめ発表する。				
教材	テーマ毎に適宜、作成したものを配布する。 テーマ毎に適宜、紹介・推薦する。				
授業予定	第1回：研究テーマの設定 第2回：研究方法の検討Ⅰ 第3回：研究方法の検討Ⅱ 第4回：文献報告 第5回：文献報告 第6回：関連資料等の報告 第7回：関連資料等の報告 第8回：生活環境に関する考察Ⅰ 第9回：生活環境に関する考察Ⅱ 第10回：都市環境に関する考察Ⅰ 第11回：都市環境に関する考察Ⅱ 第12回：文献報告 第13回：他研究内容の比較検討報告Ⅰ 第14回：他研究内容の比較検討報告Ⅱ 第15回：研究テーマの展開方法の検討 第16回：伝統的住まいに関する考察 第17回：伝統的住まいに関する評価 第18回：建築技術等に関する考察 第19回：伝統的住環境づくりに関する考察 第20回：伝統的生活環境に関する検討報告Ⅰ 第21回：伝統的生活環境に関する検討報告Ⅱ 第22回：生活環境に関する検討報告Ⅰ 第23回：生活環境に関する検討報告Ⅱ 第24回：論のとりまとめ・報告Ⅰ 第25回：論のとりまとめ・報告Ⅱ 第26回：住環境に関する提案検討Ⅰ 第27回：住環境に関する提案検討Ⅱ 第28回：住環境づくりのとりまとめ・報告Ⅰ 第29回：住環境づくりのとりまとめ・報告Ⅱ 第30回：総括 第31回：定期試験 第32回：授業ふりかえり				